

石油と観光の国

ベネズエラは世界有数の産油国である。オリノコ川の南には、テンプルマウンテンや世界最大の落差を有するエンジェルフォールのあるギアナ高地が広がっている。首都カラカスは標高一〇〇〇呎の盆地にあり、年間を通じて素晴らしい気候である。多くの日本人は高層ビルに住んでいるが、山の斜面にはラ



校舎



ンチヨと呼ばれる貧困者の居住区が広がっている



アピラ山のロープウェイからカラカス市街を望む

●ベネズエラ●

カラカス 日本人学校



スクールバスで登校



小学部 スペイン語

経済的な不安定さが心配されていたが、いまのところ落ち着いた状態を維持し、保護者や在住日本人の全面的な協力体制の中で、日本と同等、あるいはそれ以上の教育活動を行っている。

勉強するときは、とことん理解するまで粘り強く、遊ぶときは汗をたっ

ベネズエラの教育は公立学校と私立学校からなり、日本の学習指導要領にあたるものも全国で統一されている。しかし教科書は多種類あり、国で定める一般的なもののほか、高価なものも出回っている。いまだ

現地の教育環境

る。街には緑があふれ、休日の公園ではたくさん家族連れが散歩をしている。政治経済の不安定さによる治安の悪化に伴い、危機意識を持ちながら生活する必要があるが、周りには陽気で親切なベネズエラ人が多く、私たちに足りないものを教えてくれる。

駐在する日本人はゴルフやサッカー、ソフトボール、テニス等のスポーツ、また茶道や手芸等の文化的なサークルに入っている。

元気な子どもたちと熱い教師集団

はほとんどの子どもが学校に通うようになったが、二十年ほど前までは中学までしか行かない子どもも多かった。

公立学校の授業料は私立に比べてたいへん安い。ある程度の収入がある家庭は、私立校に通わせている。一クラスの人数も公立校に比べて少なく、落ち着いた雰囲気での学習ができています。教授法については一斉学習が多く、宿題が多いのも特徴である。インターナショナルスクールへは、現在三人の日本人の子どもが通学している。

カラカス市内から約二十キロ、閑静な住宅街の中にある本校では、熱意を持った教師が「すべては子どもたちのために」を合い言葉に、少人数指導で熱い教育活動を展開している。政治的・



カラカス太鼓

Colegio Japonés de CARACAS

URL <http://colegioccs.web.fc2.com>

児童生徒数 小=9人 中=1人



—盛り上がった運動会—



ぷりかいて元氣よく、そんなふうに、子どもたちはメリハリのあるいきいきとした学校生活を送っている。

十六年前に創設されて以来継承されているカラカス太鼓は、日本文化の理解と発信のために重要なものとして位置づけていて、大使館主催の日本文化週間するときなどに発表している。

また、治安の悪化による行動範囲の規制があるなか、少しでも現地理解を深めようと、旧市街にある施設やカラカスのシンボルであるアピラ山、郊外のコーヒー農園などへの社会見学も積極的に実施している。

緊急避難訓練を兼ねた学校での宿泊学習や、保護者の協力で行われるもちつき大会も子どもたちが楽しみにしている行事である。

小学部五年生以上を対象に実施している二泊三日の修学旅行では、ベネズエラでし

か見聞できないようなたくさんさんの経験をしている。特に日系企業の当地での苦勞や誇りを持って働いている日本人の姿を見ることは、国際的視野を広げたり国際貢献の必要性を身をもって理解したりすることにつながっている。

七月の運動会は進出企業や日系人、ベネズエラの人々など総勢三〇〇人を超す参加者で行われた。大勢の参加者の中で子どもたちが堂々とあいさつや応援、競技を行う姿は日本人学校の教育が間違っていないことを端的に示している。今後も、家庭的な雰囲気の中にも日本的で厳格な教育で子どもたちの教育に励みたい。

子どもたちの学校生活の様子は、毎日のように更新される本校のブログを参照されたい。

(二〇一一年七月現在)

子どもたちがら

カカオ農園でいかにいけ水と、チョコレートがうまくできてうれしかったです。(小四)

修学旅行で行って見たアサララのショーでドラム缶の上を歩いていたのがすごかったです。(小五)

ベネズエラ人が100人くらい来て、すごく盛り上がる運動会になりました。(中3)